

シェルとの液化水素サプライチェーンに関する協業に向けた覚書の締結

2022年10月13日

関西電力株式会社

当社は、昨日、液化水素サプライチェーンに関する協業に向けた覚書をシェルと締結しました。

本検討は、両社によるクリーン水素製造、シェルによる水素液化・貯蔵・輸送技術の適用、当社による火力発電所における水素利用など、液化水素プロジェクトの実現可能性や協業機会を確認するものです。

当社は、お客さまや社会のゼロカーボン化に向けて、様々なパートナーとの協業を通じて最適な水素サプライチェーンの構築に努め、水素社会の実現に取り組んでまいります。

以 上

参考：「両社の協業におけるコメント」

「両社の協業におけるコメント」

• 関西電力 水素事業戦略室長 栗野 理

ゼロカーボン社会の実現に向け、水素は必要不可欠なエネルギーと考えています。脱炭素のリーディングカンパニーとして、当社は水素社会の実現に向け、あらゆる可能性を追求しており、今回のシェルとの協業も日本への最適な水素サプライチェーン構築の後押しになると期待しています。

• シェル VP Hydrogen ポール・ボジャース氏

当社は50年以上にわたって日本のエネルギーの歩みの一翼を担ってきたことを誇りに思います。需要家の皆さまとの協力はエネルギー転換を加速させるシェルのPowering Progress戦略の要です。また、水素のポテンシャルを最大限引き出すためには幅広いステークホルダーと協力しホールシステム・アプローチを促進することが重要です。今回の覚書締結により、関西電力のようなリーディングカンパニーと協力して、液化水素バリューチェーンの可能性を検討し、日本のエネルギーの脱炭素化に貢献できることを嬉しく思います。